

男女共同参画ニュースレター

男女共同参画推進委員会

シンポジウムの実施について

男女共同参画推進委員会では、今年度初めて、「働き続ける教員」をテーマにしたシンポジウムを「教員としての職業キャリアと生活者としての生活キャリアを相互に理解し合い、次世代の男女共同参画意識を高めること」を目的として実施しました。

【テーマ】初等中等教育を担う女性教員のロールモデルの構築

【日時】2014年11月12日（水）

【会場】京都教育大学 附属教育実践センター機構棟2階

未来教室対応・高度化授業研究室



具体的には、以下の内容のもと、学部生を含む53名のみなさんに参加いただきました。教員として働き続けることについてさまざまな角度から考える機会となりました。

【基調講演】文部科学省生涯学習政策局男女共同参画学習課長 藤江 陽子 氏

「我が国の男女共同参画の現状と女性の活躍支援」

文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課 堀家 健一 氏

「働き続ける女性教員の現状と課題」

【経験談報告】豊中市公立中学校教諭 藤井 幸恵 氏

附属京都小中学校教諭 高田 陽子 氏

附属特別支援学校教諭 中島 有扶子 氏



文部科学省の藤江氏と堀家氏には、日本の女性（および女性教員）の就労状況の現状と課題をわかりやすくご説明いただきました。藤江氏からは、「男女共同参画に関する国際的な指標」等によって明らかにされている課題にもとづき、政府が出している方針や文部科学省による取組について、堀家氏からは、教員を取り巻く労働環境の現状を踏まえ、女性教員に対する支援制度について、お話をいただきました。



また、仕事と育児についての経験談報告では、3人の現役の先生方より、それぞれのご経験をお話いただきました。仕事と育児の両立をめぐる工夫やご自身がたいせつにされてい

る考えなどを伺いました。



その後、参加した学生のみなさんからは、仕事と育児の両立を子どもの側から見た場合に関する質問も出されました。それに対して、先生方からはご自身の考え方を含め、これから教師をめざす学生たちへのエールをいただきました。

なお、今度は男性教員のお話も伺ってみたいという声も出ています。教員として「働き続ける」ということを考える上でとても充実した機会となりましたので、今後もこうした機会をもてるよう検討できればと思います。

ご協力いただきました講師の先生方、ほんとうにありがとうございました。

研修会の実施について

男女共同参画推進委員会では、昨年度に引き続き、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の考え方に関する研修会を実施しました。

【テーマ】ワークライフバランスセミナー

～すべての人が能力発揮でき、働きやすい職場環境づくりをすすめるために～

【日時】2015年2月20日（金）

【講師】公益財団 21世紀職業財団客員講師 土井文子氏

【会場】京都教育大学 附属京都小中学校 東エリア

ランチルーム



当日は、ワーク・ライフ・バランスの考え方と具体的な進め方について、土井氏にお話をいただきました。誰もが「やりがいや充実感」をもちながら働くことのできるよう、組織としてワークライフバランスを進めていく上で「意識面の変革」「働き方の変革」「不安への配慮」が重要であることを、具体的な場面をもとに説明いただきました。会議時間や資料整理等に関する示唆もいただきました。

また、グループワークも取り入れていただき、参加者が自身の「ワーク」と「ライフ」のバランスの現状と理想を考えた上で、理想に近づくためにできることについて、グループで

交流する機会となりました。

組織としてのワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、今後活かしていきたいと思っております。



京都教育大学 男女共同参画推進委員会

（担当：総務・企画課）